

# 幕末期に米英と結ばれた主な条約等

条約名	調印日・場所	相手方全権名	日本側全権名
日米和親条約 (全12カ条、神奈川条約) 片務的最恵国待遇、領事駐在	1854. 3. 31 横浜村(現横浜市)	東インド艦隊 マシュー・ペリー提督	江戸幕府 林復齋(大学頭)
日米修好通商条約	1858. 7. 29 江戸湾のポーハタン号の船上	総領事 タウンゼント・ハリス	江戸幕府 井上信濃守(下田奉行)、岩瀬忠震(目付)
日英約定 (全7カ条、日英和親条約)	1854. 10. 14 長崎	英國東インド艦隊 ジェームズ・スターーリング提督	水野忠徳(長崎奉行)、永井尚志(目付)
日英修好通商条約	1858. 8. 26 江戸	第8代エルギン卿 ジェームズ・ブルース伯爵	江戸幕府 岩瀬忠震(目付)

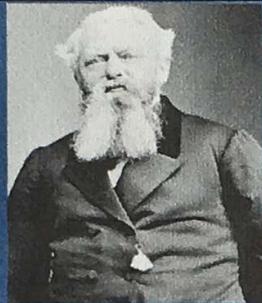
米国



ペリー提督



スターーリング提督



米国初代総領事  
タウンゼント・ハリス



第8代エルギン卿



英國初代総領事  
ハリー・パークス

ロバート・ブルースの直系  
第11代エルギン卿は  
パノックバーン700年祭を主宰

## 香石先生による作品展ツアー



## 2005年日・EU市民交流年報告書

Report on the  
“2005 EU-Japan Year of People-to-People Exchanges”  
English

EUROPEAN UNION  
2005



## マッサンとの出会い

マッサンとリタさんは日本とスコットランドの架け橋  
知られざる余市との秘話

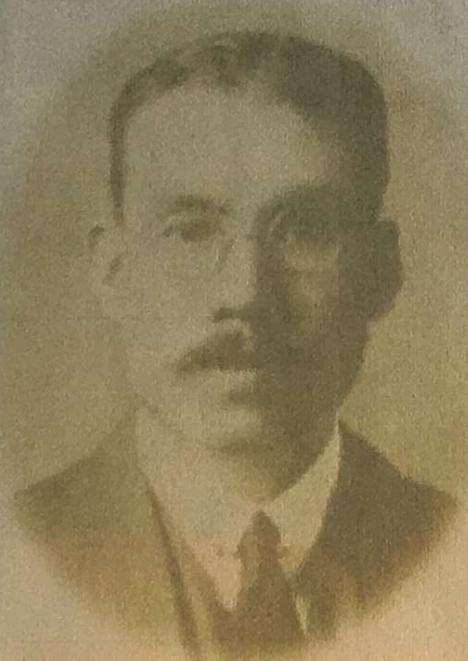


博物館の展示  
(リタさんの着物、筆者撮影)



カーカンテロフの  
リタさんの実家  
(アサヒビール提供)

Rita & Masataka



竹鶴政孝  
(1894~1979)

政孝二十五歳・リタ二十三歳。  
ふたりはスコットランドで  
出会った。



ジェシー・ロベルタ・カウン (妻)  
(1896~1981)

二人は家族や周囲の反対を押し切って結婚

二人きりで日本に渡り

日本で初めての本格的モルト・ウイスキーを造り

「日本ウイスキーの父」と讃えられるようになる

リタさんは

関西弁を操り、漬物の達人、着物が似合う  
「日本人女性」として生き

不器用で生真面目な政孝を支えた



1894-1979

1896-1961

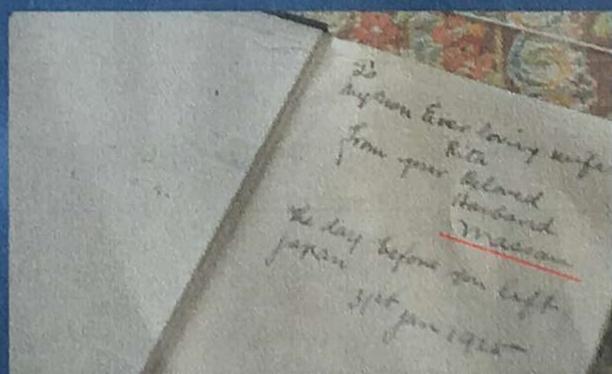
写真提供：アサヒビール株式会社

# マッサン展

マッサンと呼ばれ愛された政孝の

琥珀色の夢と  
青いバラのものがたり

2014.9.24 ~ 2015.5.8



リタさんが初めて里帰りしたときに  
マッサンがプレゼントした本の揮ごう

「永遠に愛する妻リタへ 貴女の愛する夫 Massanより  
貴女が日本を出発する前日の1925年1月31日」

アサヒビール提供

日本とスコットランドの  
歴史とロマンを紡ぐ!!

スコットランド人  
カナーン

竹鶴政彦

外交史料館 特別展示

# マッサン展

マッサンと呼ばれ愛された政孝の  
琥珀色の夢と  
青いバラのものがたり

2014.9.24 ~2015.5.8

10:00~17:00 入場無料  
休館日 曜曜日、祝日 及び年末年始  
外務省 外交史料館特別展示室  
東京都港区麻布台1-5-3  
協力 アサヒビール株式会社



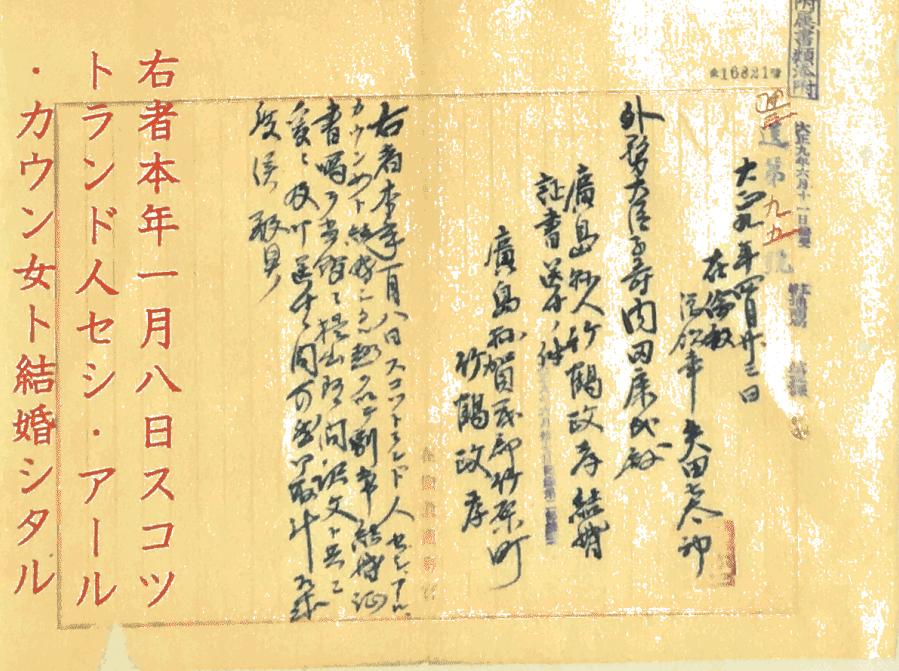
外務省外交史料館

別館 展示室

常設展示

本館 正面

特別展示



## おわりに

歴史は人々によって紡がれて初めて意義があるといえる。

政孝によって日本に伝えられたウイスキーは世界一に選ばれるまでになった。日本のウイスキーの育ての親ともいえる鳥井信治郎を継いだ佐治敬三は、スコットランドに恩を返すために不可能といわれた青いバラを世界で初めて世に出す功労者となつた。

「マッサン展」は、政孝とリタさんの生きた時代を通し、その背景となった日本とスコットランドの歴史的なつながりを少しでも多くの方に知っていただきたいと企画された。

政孝という一人の青年が追い求めた琥珀色の夢は、多くの人々によって受け継がれている。青いバラのようなものがたりが、これからも沢山生まれるに違いない。

外交史料館にはそれぞれの夢を追い求めて生きた数多くの先人の記録が残されている。それらを通して、先人たちの足跡、思いや願いを皆さんに少しでも伝えることができれば幸甚である。

「マッサン展」と銘打って、どれだけ政孝やリタさんの思いが伝えられたかは皆さんの評価を待つしかないが、外交史料館が保有する貴重な史料が少しでも多くの国民に利用されることによって、自らの生き方や我が国の行く末を考える一助となることを頼つて止まない。

「マッサン展」は外交史料館始まって以来の記録的な来館者を迎えて終えることができた。最初から最後までハラハラドキドキの連続であったが、暖かい皆さんのサポートが支えになって何とかここまで来れたと感謝している。特に、7回も足を運んで頂いた香石先生とそのお友達には心から感謝している。どうもありがとうございました。

外交史料館特別展示

# マッサン展



琥珀色の夢と青いバラのものがたり

—竹鶴政孝と知られざる

日本・スコットランド交流史—

2014年9月24日(水)~2015年5月8日(金)